

この度は、「平和大通り公園（仮称）の利活用のためのワークショップ」（第2回）にご参加いただきありがとうございました。本通信では、このワークショップ（WS）結果の概要についてお知らせします。

日時:令和5(2023)年10月25日(水)18:30~20:30
場所:合人社ウェンディひと・まちプラザ
参加者:23名

参加者の皆様には、5つの班に分かれていただき、4つのステップに沿って「必要なルール項目を洗い出してルール(案)を考えよう」をテーマに意見交換していただきました。



Step1

第1回WSの振り返り

Step1では、WS通信を基に、**第1回WSでどのようなことが話し合われたのか**を振り返りました。

○紹介事例を基に、**興味を持った活動やルール**についての意見交換



- ・「管理・運営窓口が統一されている」ことや、「コンセプト」が共有されている点、また、「安全対策」「施設利用(特に商行為)」、「周辺環境」についての取組が挙げられました。

○利活用の課題や、その課題を解決するためのアイデア等についての意見交換



- ・「ゴミ」、「騒音・光害」、「周辺商業施設への影響」などの課題が挙げられ、それを解決するアイデアとして、「管理者」、「利用ルール」、「情報発信」、「インフラ整備」などのキーワードが挙げられました。



Step2

チェックイン

Step2では、第1回WS参加を受けて、「**平和大通りの印象がどのように変わったか**」について意見交換を行いました。また、今回から参加される方には、自己紹介を行っていただきました。

ワークショップを通じて、ご自分が抱いていた**印象や思いを再認識**された方が多くいらっしゃいましたが、新たに、自分に無かった視点で”平和大通り”を**見つめ直す機会**と捉えられた方もいらっしゃいました。また、みんなで考えたルールに沿って利活用してもらえるかという不安を感じられている方もいらっしゃいましたが、様々な立場の方々と意見を出し合うことで、平和大通り公園の”利活用の可能性”を見出されていました。

≪議論した内容の一例≫

主な意見を事務局で補足し掲載しています。

項目	班名	平和大通りの印象
≪印象の変化≫	A班	・今後の平和大通りをルールに沿って利活用してもらえるか心配 ・あまり利便性の良い構造ではない など
	B班	・イベントで周辺店舗の売上げが下がる
	C班	・いろいろな意見を出し合うことで利活用できそうに感じた ・イベントだけの思いではなく、どのように活用してほしいのかなど、地元とフラットに話し合い、地元の声を反映したい など
	D班	・いろいろなアイデアを持っている人がいて、実現する場としての可能性を感じた ・樹木で暗く、適度な明るさが必要 など
	E班	・平和大通公園を活用していくことや、活用の可能性があるといった同じように思いを持っている人が多い ・(広島全体の印象として)バスの乗務員の言語対応が大変そう
≪再認識≫	A班	・無断駐車が多い ・イベント時のトイレの不足やゴミ問題 など
	B班	・にぎわいがすべて良いわけではない ・樹木の保全と鎮魂の場 など
	C班	・人が多く集まると足元が不安 ・イベントがよく開催されているがテーマ性や連続性を感じられない など
	D班	・今後の平和大通り(このブロック)の利活用で、ルールに沿って利活用してもらえるか心配
	E班	・”ヒロシマ”の持つポテンシャルを広げられる場所 ・四季の変化・彩り溢れる場所 など

Step3

ルール(グループ素案)を考える

この Step3 では、次の 2 つの項目について意見交換を行いました。

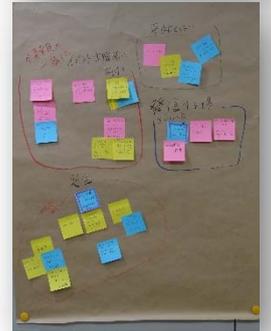
- ① 「どのようなコンセプトで、平和大通り公園を利活用していきたいのか」、また、「コンセプトを実現するためには、どのようなルール項目が必要なのか」
- ② ①で議論したルール項目に対するルール内容

コンセプトの方向性については、「多様性」、「緑の保全」、「回遊性」、「平和(鎮魂)」、「にぎわい」、「安全性」、「美しい」、「広島らしい」等の公園といった様々な意見が挙げられています。このほかにも「憩い」や「地元を主体」とした公園等の意見も見られました。その中でも、「平和(鎮魂)」や「広島らしさ」については、多くの班で話し合われています。

ルール項目については、「トイレ設置・利用のルール」や「人・自転車等の交通ルール」等といった、具体的な運用を想定した項目やその内容について多く話し合われました。また、「ルールづくりの体制」といった、継続的に議論していく場の必要性についても注目されていました。

《議論した内容の一例》 ここに挙げた意見は、異なったコンセプトをできるだけ多く紹介できるように、事務局が各班の意見を 1～2 項目に絞って掲載しています。

班名	コンセプトの方向性	コンセプトを実現するためのルール項目	ルール項目の内容
A 班	《多様性のある公園》 ・空間の多様性 ・誰もが利用できる空間	・イベントコンセプトの判断基準	・団体の安全確認 ・平和大通りの活性化に対する意欲態度の確認 ・イベントの創意工夫 など
B 班	《緑豊かな公園》 ・樹木の保護 など	・樹木の保護 ・樹木の観察	・安全面以外の樹木の伐採禁止 ・施設整備時の石碑、樹木への配慮
	《回遊性のある公園》 ・比治山から記念公園をつなぐ など	・通やすさ・散策のしやすさ (徒歩、公共交通、外国人等)	・人、自転車との通行区分 ・外国人にもわかりやすい表記
C 班	《平和を象徴する公園》 ・平和記念公園への参道	・「平和な風景」がある公園 ・利用時間、方法とゾーニング	・イベント利用ルールと地域利用ルールのどちらも作る ・日数、時間で利用を絞る など
	《にぎわいのある公園》 ・いつもどこかで何かある ・つながりの場 など	・イベントの利用方法	・出店者の車乗り入れ(荷物搬入など)ルール ・駐輪スペース等の占有ルール
D 班	《安全な公園》 ・歩く人の目線を意識したルールづくり ・利用者に向けたルールづくり	・自転車等の通行 ・ゴミに対する対策	・自転車乗り入れ制限 ・ゴミは持ち帰る など
	E 班	《美しい公園》 ・来た時よりも美しくきれいに ・旅人も美化に参加する など	・協議会等が継続して話し合うためのルールづくり ・喫煙
《広島らしい公園》 ・広島の「風」が通る公園 など		・広島らしさ(風土・風味など)の発信	・SNS や広告、語り部など、発信方法や発信内容のルール化



Step4

議論内容のまとめと議論内容の報告

今回の WS では、それぞれの班の方が、各班で話し合われた内容について、発表者の思いも含めて参加者全員の前で発表し、その内容をみんなで共有しました。



第 3 回開催のお知らせ

《開催日時》

- ・令和 6(2024)年 1 月 18 日(木)18:30～20:30
- ・受付開始:18:00

《開催場所》

- ・合人社ウェンディひと・まちプラザ 北棟5階 研修室 A・B

《ワークショップ(第 3 回)での主な議論》

- ① 社会実験の結果報告
- ② 利活用のためのルール(案)の取りまとめ